

R3-03

地域と連携した安全指導の推進

- 管 内 上川管内
- 分 類 ☒通学路の点検 ☐防犯教室・防犯訓練 ☐安全マップ
☐スクールガード・リーダー等の活用 ☒その他（「校外ゴミ拾いボランティア」）
- 教育課程 ☐教科（ 科） ☐道徳 ☐総合的な学習の時間 ☐特別活動
- 校 種 ☐小学校（低） ☐小学校（中） ☐小学校（高） ☒中学校 ☐高等学校
- 取組のポイント

- 1 地域とのつながりを意識した「地域に愛される学校づくり」の実践
- 2 全教職員が一体となつて行う部活動登下校時の安全指導

取組の実践

ねらい

- 「地域に愛される学校づくり」を目指した取組を行うことにより、地域住民とのつながりを深化させ、有事の際に連携できる関係を築く。
- 教職員が、輪番で部活動登下校時に校外巡視パトロールを行い、安全確保に係る体制を構築する。

内 容

- 1 地域とのつながりを意識した「地域に愛される学校づくり」の実践
 - (1) 部活動登下校時における、安全啓発活動の発信
定期的に「学校だより」を地域に配布し、地域住民に「部活動登下校時の声掛け運動」への協力を呼び掛けている。
 - (2) 各部活動が主体となつて行う定期的な「校外ゴミ拾いボランティア」
日頃から、気軽に声を掛け合える関係をつくり、地域住民とのつながりを深化させることを目指して、各部活動が主体となつて、定期的に「校外ゴミ拾いボランティア活動」に取り組んでいる。
- 2 全教職員が一体となつて行う部活動登下校時の安全指導
 - (1) 部活動集会の実施
年度始めに、生徒指導部と健康安全部が連携し、部活動に加入している生徒対象の集会を実施し、部活動登下校時における安全指導を行っている。
 - (2) 全教職員が輪番制で行う、校外巡視パトロール
部活動登下校時に教職員が輪番制で、校外巡視パトロールを実施し、校外巡視パトロール記録簿へ記録し、通学路の危険箇所等について情報共有を図り、部活動に加入している生徒への一貫した安全指導を行っている。



【部活動集会の様子】



【校外ゴミ拾いボランティアの様子】

成果と課題

- 「学校だより」による地域への呼び掛けや、「校外ゴミ拾いボランティア」を行ったことにより、学校と地域の関係性が深まり、地域全体で生徒の部活動登下校時の安全を見守る体制を構築することができた。
- 地域住民による登下校見守り活動をより一層充実させるために、今後は、学校運営協議会との連携を深めるとともに、家庭・地域・関係機関等と生活安全の取組を継続する必要がある。